

## コンクリートスぺーサーの配合(調合)表

品名	使用材料((比重)
セメント	普通ポルトランドセメント(比重3.15)
砂	山 砂
細骨材	最大 15mm

品名	重量(比率)		
セメント	25000g	100	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 40px; display: inline-block;"></div> 1:3
砂	50000g	200	
細骨材	25000g	100	
水	10000g	40	$\frac{10000}{25000} \times 100 = 40\%$

### 1、 製造方法

2.5切ラークミキサー使用、ラークミキサーにセメント、砂、細骨材の順に投入し、約2分間混合後、水を投入5分間混合コンクリートを製造。混合された材料を型枠に流し込みスぺーサーを製造。

### 2、 養生方法

2時間～3時間放置後、脱型、脱型後、1時間～2時間放置後、65度で4時間蒸気養生。室内で材令2週まで静置。

# セメント系材料圧縮強度 試験結果報告書

試験番号	0165
受付	平成27年 6月11日
報告	平成27年 6月16日

一般財団法人 日本建築総合試験所  
試験研究センター  
センター長 工学博士 井 上



試験依頼者	株式会社 高橋製作所					
所在地	〒577-0836 大阪府東大阪市淡川町1丁目16番15号					
工事名	_____					
施工者名	_____					
試験体種類	1. 根固め液 2. くい周固定液 3. 無収縮モルタル ④ その他( 自社管理 )					
製作日	平成27年 6月 2日	試験年月日	平成27年 6月 16日	材齢	14日	
強度管理材齢	14日	設計基準強度	50 (N/mm <sup>2</sup> ・kgf/cm <sup>2</sup> )			
使用材料	種類	セメント		そ の 他		
	品名	普通ポルトランドセメント		_____		
調 合	区分	水量(kg/m <sup>3</sup> )	セメント量(kg/m <sup>3</sup> )	そ の 他		
	I	130	326	_____		
	II	_____	_____	_____		
各区分の試験条件	区分	杭 No その他	形状寸法	成型方法	養生方法*	数量
	I	_____	φ 10×20cm	1. ビニール袋 2. モールド 3. ( )	C	3本
	II	_____	_____	1. ビニール袋 2. モールド 3. ( )	_____	一本
備 考	_____			* A:標準 B:封緘 C:空中 D:( )		

(この枠内は試験依頼者記入による)

## 試 験 結 果

試験年月日	平成27年 6月16日		公称寸法 (cm)	φ 10×20
区 分	番号	圧 縮 強 度 (N/mm <sup>2</sup> )	備 考	
		平均値		
I	1	62.1	65.6	-----
	2	66.6		-----
	3	68.0		-----
II	1	---	---	-----
	2	---		-----
	3	---		-----

試験は、JIS A 1108「コンクリートの圧縮強度試験方法」に準じた。

強度は、公称断面積によって計算した値である。

試験結果には、供試体の直径及び試験機の誤差により±2%以内の誤差を含む。

報告書発行責任者 本所材料部 中央試験室 室長 博士(工学) 永山 勝 TEL06-6834-0561

# セメント試験成績表



N21400084

平成27年6月度

麻生セメント株式会社

種類 品質		普通ポルトランドセメント JIS R 5210				早強ポルトランドセメント JIS R 5210				高炉セメントB種 JIS R 5211			
		JIS 規格値	試験成績			JIS 規格値	試験成績			JIS 規格値	試験成績		
			平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)
密度	g/cm <sup>3</sup>	—	3.15	—	—	—	3.14	—	—	—	3.04	—	—
比表面積	cm <sup>2</sup> /g	2500以上	3320	83	—	3300以上	4580	85	—	3000以上	3960	81	—
凝結	水量 %	—	28.6	—	—	—	31.5	—	—	—	31.8	—	—
	始発 h-min	60min以上	2-01	—	(1-42)	45min以上	1-36	—	(1-23)	60min以上	2-58	—	(2-39)
	終結 h-min	10h以下	3-16	—	3-45	10h以下	2-43	—	3-00	10h以下	4-26	—	4-56
安定性	パット法	良	良	—	—	良	良	—	—	良	良	—	—
圧縮強さ N/mm <sup>2</sup>	1d	—	—	—	—	10.0以上	30.2	1.45	—	—	—	—	—
	3d	12.5以上	31.0	1.47	—	20.0以上	47.2	1.67	—	10.0以上	22.2	1.45	—
	7d	22.5以上	46.4	1.70	—	32.5以上	56.0	1.80	—	17.5以上	35.0	1.68	—
	28d	42.5以上	62.5	1.98	—	47.5以上	66.0	1.98	—	42.5以上	61.8	1.90	—
水和熱 J/g	7d	—	335	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28d	—	387	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
化学成分%	酸化マグネシウム	5.0以下	1.09	—	1.40	5.0以下	1.60	—	1.79	6.0以下	2.90	—	3.45
	三酸化硫黄	3.5以下	2.18	—	2.47	3.5以下	3.18	—	3.30	4.0以下	2.16	—	2.30
	強熱減量	5.0以下	2.23	—	2.58	5.0以下	1.25	—	1.42	5.0以下	1.54	—	2.30
	全アルカリ	0.75以下	0.53	—	0.63	0.75以下	0.38	—	0.42	—	—	—	—
	塩化物イオン	0.035以下	0.014	—	0.023	0.02以下	0.006	—	0.008	—	0.011	—	—

**備考**

普通ポルトランドセメント

直近6か月間の全アルカリの最大値の最大の値 (%)	0.63
---------------------------	------

早強ポルトランドセメント

直近6か月間の全アルカリの最大値の最大の値 (%)	0.48
---------------------------	------

高炉セメントB種

ベースセメントの全アルカリ (%)	0.53
高炉スラグの分量 (質量%)	40~45

1. 試験方法は、JIS R 5201、JIS R 5202の本体、JIS R 5203及びJIS R 5204による。
2. 28d圧縮強さ及び28d水和熱は、前月度の値を示す。



お問い合わせその他のご連絡先

麻生セメント株式会社

大阪支店

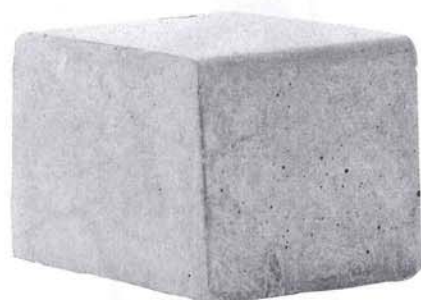
大阪府中央区淡路町3丁目5番13号

創建御堂筋ビル3階

TEL (06) 6222-2211

# コンクリートスペーサー

## コンクリートサイコロ型



溝付きサイコロ



圧縮強度：50 $\text{N}/\text{mm}^2$ 以上。

### ●コンクリートブロック 入数・重量表

サイズ	入数	1包・1束の重量	1パレットの数量	1パレットの重量
30×40	200ヶ	24kg		
40×50	100ヶ	25kg	45包	1,125kg
50×50	50ヶ	15kg	80包	1,200kg
40×50×60	50ヶ	15kg	72包	1,080kg
50×60	50ヶ	23kg	45包	1,035kg
60×60	40ヶ	21kg	48包	1,008kg
50×60×70	40ヶ	21kg	54包	1,134kg
70×70	30ヶ	25.5kg	48包	1,224kg
60×70×80	30ヶ	25.5kg	45包	1,148kg
70×80×150	12ヶ	24kg	48包	1,152kg
80×160	6ヶ	14.4kg	72束	1,037kg
100×120	6ヶ	14.4kg	72束	1,037kg
100×150	6ヶ	19kg	54束	1,026kg
100×180	4ヶ	15kg	75束	1,125kg
100×200	4ヶ	16.5kg	75束	1,238kg
120×150	1ヶ	5.2kg	196個	1,019kg

### ●溝付コンクリートブロック 入数・重量表

サイズ	入数	1包・1束の重量	1パレットの数量	1パレットの重量
70×80×90×100	20ヶ	25kg	45包	1,125kg
80×110-120	8ヶ	14kg	72束	1,008kg
80×130-140	8ヶ	15.2kg	63束	958kg
80×170-180	6ヶ	16.2kg	60束	972kg
80×190-200	6ヶ	18kg	60束	1,080kg

# 試験成績書

---

依頼会社名

株式会社 高橋製作所  
大阪府東大阪市洪川町1丁目16番15号  
TEL:06-6720-2561  
FAX:06-6728-3643



試験名称

コンクリートサイコロ(鉄筋支持用スペーサー)の性能試験

標記試験の結果は、この文書の通りである。

コンクリート圧縮強度 財団法人 日本建築総合試験所